

## 提案

日付：2022/6/22

件名：中学校の部活の充実化、または中学生対象としたクラブチーム立ち上げ

### 1.問題、課題

現在小学校1年生になる息子がおります。私が学生時代からバレーボールをやっていることもあり、最近息子も「バレーボールをやりたい」と話しかけてきました。

親である私としては大変嬉しい出来事であり、早速小学生対象のクラブチーム（海老名市）に通わせています。

しかし息子が中学生になったことを考えて、色々調べてみた結果以下のことが分かりました。

1. 現在、寒川町立中学校に男子バレーボール部が存在していない
2. 現在、寒川町内に中学生を対象とした男子バレーボールクラブが存在していない
3. 寒川 ACE という強豪チームが居るにも関わらず、後継者育成環境が整っていない

私も小学生対象のクラブチームに出入りするようになって気が付いたことがあります

1. 「排球」という漫画の影響で、小学生のバレーボール人口が意外に多いこと
2. バレーボールをする環境が少ないため、様々な地域の小学生が集まっていたこと（海老名市、大和市、綾瀬市、寒川町）

### 2.改善案：

#### 改善案（提案）1

教員の方々の負担が増えない範囲で、部活動の充実化を図って欲しい

バレーボールに限ったことではありません、生徒に多くの選択肢を持たせてあげて欲しいと考えています

#### 改善案（提案）2

小学生や中学生を対象としたクラブチームの立ち上げ

場所の定期的な利用や遠征などを考えると町の協力が必要と考えています

### 3.改善後の効果：

#### 改善効果1

寒川町立中学校から県大会、関東大会、全国大会出場者が出る可能性がある

現在部活が無い状況では、出場する可能性はゼロに等しいです

寒川町の PR にも繋がると考えます

また寒川町立中学校のバレーボールが有名になれば、県立寒川高校もバレーボール強豪校となる可能性も秘めていると考えます

部活ではなく町立クラブチームとして活動した場合も、同じ効果が得られると考えています

最近の寒川町の働きを見ていると、スポーツに力を入れていると感じています  
バレーボールに限らず、子供たちに多くのスポーツに触れる環境作りと、継続できる環境作りにぜひとも尽力していただきたく思います

---

## 回答

<中学校の部活の充実化、または中学生対象としたクラブチーム立ち上げ>

【所管：学校教育課】

日ごろより町及び町教育委員会の事業にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

近年、公立中学校における部活動の在り方、とりわけ運動部活動については、特に持続可能性という面でその厳しさを増しているところです。国の動向としましても、運動部活動の改革について、スポーツ庁の有識者会議において公立中学校の運動部活動の地域移行に関する検討が集中的に行われ、本年6月にその提言が取りまとめられたところです。本提言では、令和5年度から3年間を目標に、休日の部活動から段階的に学校単位から地域単位での活動に移行していくこととされております。一方で、全国市長会では、拙速な導入には反対しており、十分な準備期間や国の財政的支援を求めており、今後どのような動きになるかは不透明です。これらを踏まえた現状としまして、ご提案いただきました運動部活動の拡充につきましては、厳しい状況にあると考えます。

教育委員会としましては、町立中学校における部活動、とりわけ今回ご提案いただいております運動部活動につきましては、これまで生徒のスポーツに親しむ機会を確保し、生徒の自主的・主体的な参加による活動を通じて、達成感の獲得や責任感、連帯感の涵養等、特に人格形成上、少なからず役割を担ってきており、教育的意義も大きいものであると認識しております。

今後に向けて教育委員会としましても、地域移行に向けた課題等を整理し、スポーツ課を含めた関係課等と緊密に連携を図りながら検討を進めていくところでございます。学校関係者と地域が連携をしつつ、生徒の発達段階やニーズに応じた多様な活動ができる環境づくりについて、調査研究を進めてまいります。

## 【スポーツ課】

このたびは、小学生や中学生を対象としたクラブチームの立ち上げについて、ご提案をいただきありがとうございます。

現在、町内に存在しない競技種目のクラブチームの立ち上げにつきましては、指導者等の現状や競技運営上の実情把握等、事前の調査等が必要となります。

現時点においては、ご提案いただいておりますクラブチームの立ち上げにつきましては、早急に実現することはできない状況であります。

しかしながら、本年6月の国のスポーツに関する動向を注視している中で、公立中学校の運動部活動改革を検討するスポーツ庁の有識者会議が、令和6年度末を目標に休日の部活動を地域のスポーツクラブや民間ジム等に委ねる「地域移行」を実現すべきだとする提案を了承し、多様な世代が参加できるスポーツ環境の整備を提唱しております。

町においても、教育委員会を含め、課題等を整理しながら検討を進めていくところでございます。

町としてもプロバスケット B3 のホームタウン化など、クラブチームのスポーツ事業を活用した地域の活性化に努めており、バレーボールについても、この度、ご提案者様からのご提案をいただいております、子ども達が多くスポーツを経験することができ、継続して活動できる環境づくりについて、調査研究を進めてまいります。